

都民ファーストの会

豊島区議団・民主の会

発行元

〈都民ファーストの会 豊島区議団・民主の会〉

区政のことはお気軽に相談ください

■ 〒171-8422 豊島区南池袋 2-45-1-9F

■ TEL：03-4566-2946

■ FAX：03-3980-2346

■ e-mail：info@tominfirst-toshima.tokyo

会派所属議員

総務委員会



星京子
監査委員



元谷ゆりな
副都心(特委)小委員

区民厚生委員会



副幹事長 里中郁男
区民厚生委員長



永野裕子
行財政(特委)委員長

子ども文教委員会



幹事長 細川正博
子ども文教副委員長



中澤まさゆき
副都心(特委)副委員長

都市整備委員会



河原弘明
環境・清掃(特委)委員長

新春によせて

日頃より私たちの活動にご理解を賜り、感謝申し上げます。

平成最後の豊島区議会議員選挙が昨年4月に行われ、令和元年5月から新たな議員構成の下で私たちは新会派として発足しました。「高齢運転者の交通事故防止対策」「園外での保育活動の安全確保」など数々の区への要望書提出や議会からの意見書提案、区内外での調査活動を重ねるなど、**会派が一丸となり政策実現に向けた活動を行っております。**

Hareza池袋やグローバルリングのオープン、IKEBUSの運行開始など、新たなにぎわい創出への仕掛けは着実に進んでいます。**街のにぎわいと共に、区民が安全で安心して過ごせる環境整備が必要不可欠です。**安全安心なまちづくりに向けては、昨年の災害対応での経験を活かした防災対策、相次ぐ交通事故への対策、区民・警察・区が連携した治安対策の充実などに取組みます。

結びに本年が皆さまにとり平和で実り多き一年となるようご祈念申し上げます。

「東アジア文化都市2019豊島」とまちづくり事業の展開

昨年を振り返り本区で最も大きな事業は、**東アジア文化都市2019豊島**だったと言えるでしょう。本区は開催都市として官民一体のオール豊島体制で国際的な文化事業に臨み、中国西安市、韓国仁川広域市と一年にわたり文化による交流を行いました。「文化は平和を築く」という高野区長のスローガンに賛同し、会派を挙げて応援した次第です。東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催前年に国際的な文化事業を経験できた意味合いは大きく、本区にとって有形無形の財産になったと考えております。この成果が一過性のものとならないよう、今後も3都市間での文化交流を続けていくことが肝要です。

まちづくりでは「東アジア文化都市まちづくり記念事業」として23のプロジェクトが展開中です。既に**東京建物Brillia HALL、新区民センター、池袋西口公園(グローバルリング)**のオープン、**ウイロード**のリニューアルなどを終えました。今年**は造幣局地区のイケ・サンパーク、トキワ荘マンガミュージアム、大塚駅北口整備**などを控え、池袋周辺だけに止まらないにぎわい創出の拠点づくりが更に進みます。

“おとぎの国からきたような真っ赤なバス”と形容される**IKEBUS**の運行も始まりました。池袋周辺の主要なスポットを回遊する路線バスの他、貸切バスの展開もしています。貸切バスでは一般の企画旅行の他、区内の保育園・幼稚園児を対象とした体験旅行を実施中です。IKEBUSが区民に愛され、本区の魅力を更に高める仕掛けになることを期待しています。

投資的事業が一巡した後は、ソフト面の充実により力を注ぐ必要があります。これまでの投資の効果を最大限活かせるよう知恵を絞り、区への提言をしていく所存です。



第3回定例会

令和元年第3回定例会は、9月18日～10月29日の日程で開会。
 今定例会から、本会議中継に手話通訳が導入され、議案19件、請願2件、陳情2件、その他1件の審議を行いました。
 決算特別委員会の開催もあり、長丁場の定例会です。
 一般質問では、**永野裕子議員**からは、「**だれもが主役のインクルーシブ社会実現のために**」と題し、障がい者の情報保障、保育・子育て施策、予防医療施策、教育施策について課題の指摘と提案を行いました。
元谷ゆりな議員からは、「**希望溢れる豊島を目指して**」と題し、特定整備路線補助172号線や活気ある街づくり、誰もが主役になれる劇場都市に関して質問をしました。
 法改正を受けて、旧姓での印鑑登録が可能となる印鑑条例の一部改正、補助176号線他道路整備工事等委託契約・目白銀鈴の坂エレベータ設置工事委託契約の一部の変更、豊島区立体育施設の指定管理者の新たな指定等が可決されました。



決算特別委員会

第3回定例会の会期中、決算特別委員会が開催され、我が会派は、**永野議員・河原議員・中澤議員**が委員として審査に臨み、平成30年度一般会計、3特別会計決算認定に賛成しました。
 国際アート・カルチャー都市の推進、子どもと女性にやさしいまちづくり等未来への投資と、**増収の一部を各種の特定目的金に積み増し、財政基盤の構築に取組んだこと等を評価**した上で、凍結されている西部複合施設計画は地域への説明を行い速やかな検討を行うこと、成年後見制度の活用促進と担い手の養成を行うこと、区民ひろばの自主運営へのをしっかりと行うこと、池袋西口公園等公園活用は賑わい創出と共に区民のためのありかたを大切にすること、災害への備えのためにも無電柱化の促進をすること、災害時の救援センター運営については過去の災害や台風19号の経験を生かして地域の体制づくりへの支援をおこなうこと、災害時の女性特有のリスクや乳幼児に着目した備えと対応を行うこと、国民健康保険の外国人への対応は収納対策のみならず背景の課題に目を向け、制度の理解と総合的な相談対応をするべき等、課題の指摘と今後に生かすべく提案を行いました。



第4回定例会

令和元年第4回定例会は、11月19日～12月9日まで開会。
 一般質問には会派を代表して里中郁男議員と中澤まさゆき議員が登壇。
里中郁男議員からは、「**思いやりと感謝で築く豊島区に**」と題し、日本一「高齢者にやさしいまち」に向けた施策の現状と提言を行いました。
中澤まさゆき議員からは、「**区民の声を区政に、魅力あるまちづくり**」と題して、災害対策や池袋西口のまちづくりなどにつき、一般質問を行い、災害対策について「救援センターでの避難者の受け入れ体制や医療体制の確保など、さらに検討を進め、確実に実行できる体制を整えていく」との答弁を引き出しました。
 今定例会では、令和2年4月から都条例に基づき管理状況届出制度が開始されることに伴った届出制度の二重化を避けるため、豊島区マンション管理条例の一部改正しました。
 また、豊島区立心身障害者福祉ホーム・自転車等駐車場・目白庭園・体育施設の指定管理者の指定などを行いました。



インクルーシブ公園の実現に向けて

インクルーシブ公園の整備につき、当事者団体の皆さまからご要望を受け、会派として実現に向け取り組みました。**障害のある子への配慮はもとより、共生社会を実現させるため、本区での施設整備が必要**との考えです。区への要望を行うと共に打合せを重ね、議会での質問で前向きな回答を引き出しています。
 造幣局地区に整備する「(仮称)としまキッズ・パーク」では、全ての遊具で満たすことは難しいが出来る限りインクルーシブな視点を加える、ということが明確となりました。
 また、今後の公園整備及び遊具・舗装などの改修の際に配慮についても、行政の在り方として重要であり進める旨の答弁がありました。整備の方向性は明確になりましたが、実現に向け引き続き注視する所存です。



◆インクルーシブ公園（英語では「inclusive playground」）。
 都議会一般質問で**龍円あいり**都議（都民ファーストの会）が分かりやすく表現するため「インクルーシブ公園」と説明。この提案をきっかけに、都はインクルーシブ公園の整備を行うことになりました。なお、都の答弁では「障害の有無にかかわらず全ての子どもたちが安全に楽しむことができる遊び場」と表現。

令和2年度予算要望書を提出

元年12月2日、令和2年度の予算要望書を区長へ提出しました。
11分野364項目にまたがる要望内容は、国際アートカルチャー都市構想の実現に向けて進む本区の歩みを更に加速させるためのものです。
 昨年は痛ましい事故や自然災害が発生した一年でした。安全安心なまちづくりのため、引き続き更なる交通安全への取組み、治安面の向上、防災対策を講じるよう求めています。
 ※予算要望の内容は、会派HPに掲載しています。

